

新型コロナウイルス感染防止対策について

今後も新型コロナウイルス変異株による感染拡大の可能性があることから、以下の「基本的な感染防止行動」の徹底をお願いします。

1. 通学について

(1) 検温等について

- ① **起床後、就寝前、必ず1日2回体温測定をし**、「体調管理カード」に記入してください。
発熱している場合（37.5℃以上）、軽い風邪症状（咳や鼻水が出る、喉が痛い、体がだるい、嗅覚や味覚に異常があるなど）が見られる場合は登校を控え、「[発熱・軽い風邪症状の発症、濃厚接触者への指定等の連絡フォーム](#)」（以下、「[発熱等の連絡フォーム](#)」という）に入力してください。
- ② **【重要】「発熱」、「軽い風邪症状」などで登校を控えた学生は出校停止扱いとします。**
学生が「体調管理カード」を提出した時点で、「出校停止」扱いとします。
出校停止により欠席した授業等については学生の不利益にならないよう、レポート、補講等の代替措置を講じる等、適切な配慮を行います。治癒し登校を再開した時に、授業担当教員へ申し出て代替措置の指示を受けてください。補講を受けず、出席回数2/3以上を確保できないときは、評価を「H」とします。
- ③ 「行動記録カード」を利用して、毎日、自分の行動履歴を記入してください（感染したとき、濃厚接触者・消毒すべき場所の特定等に使用します）。
※「体調管理カード」、「行動記録カード」は本学新型コロナウイルスまとめサイトからダウンロードできます。
- ④ 学生玄関に「サーモグラフィカメラ」を設置していますので、必ずカメラの前を通過して検温してください。体温が「37.5℃以上」の方が通ると、アラーム音が鳴り、発光します。発熱が検知された学生は、再度「非接触型体温計」等で検温しますので、保健相談員、学務課職員等の指示に従ってください。その結果、やはり体温が「37.5℃以上」ある方は帰宅し、療養していただきます。その場合、出校停止扱いとなり、補講等の対象となります。
- ⑤ 学生玄関・正面玄関に「**消毒用アルコール**」を設置していますので、必ず手指を消毒してから校内に入ってください。
- ⑥ 同居する家族が発熱・風邪症状を発症した場合、直近2日以内に接触した友人等が感染あるいは濃厚接触者に指定された場合は、「[発熱等の連絡フォーム](#)」に入力してください。

(2) 道外等へ移動した後の登校について

発熱、軽い風邪症状がなければ、登校を認めます。

2. 学内での生活について

(1) マスクの着用について

- ① **学内では必ずマスクを着用してください。**マスクは各自で準備してください。「[不織布マスク](#)」を強く推奨します。
- ② マスクは鼻まで覆い、口、鼻を出さないようにしましょう。また、使用中はなるべくマスクに触らないようにしましょう。
- ③ マスクは学内で捨てないでください。自宅等でマスクを捨てるときは、自分・他人の手に触れないようにビニール袋等に入れて捨ててください。
- ④ 夏場は「**熱中症**」の危険性が高まります。暑さを感じるときは、人のいない換気のいい

場所に移動して、マスクを外して休憩してください。

- ⑤マスクを忘れた方、マスクのひもが切れた方、アレルギーやケガ等でマスクをすることが難しい方は、学務課、保健相談室に相談してください。

(2) アルコール消毒について

玄関、教室、トイレ等、さまざまな場所に消毒用アルコールを設置していますので、必要に応じて手指を消毒してください。また、自分が使用した机は、離席時にアルコール消毒してください。

(3) 手洗いについて

小まめな手洗いは感染予防の基本です。常に清潔なハンカチを持参し、手洗い後はハンカチで手をふいてください。手洗いができないときは、アルコールで消毒してください。

◆正しい手洗い方法（動画）

https://www.youtube.com/watch?time_continue=1&v=Eph4Jmz244A&feature=emb_logo

(4) 接触感染の予防について

「接触感染」を防ぐため、ドアノブ、水道のレバー、電気のスイッチ、エレベーターのボタン等に触れたら、手洗いするように心がけてください。手で自分の目、鼻、口、マスクを触らないように常に注意してください（無意識に触ってしまうものです）。

(5) 三密環境の回避について

「換気の悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」のいわゆる「三密」の環境を避けてください。

(6) ソーシャル・ディスタンスについて

「飛沫感染」を防ぐため、**他の人と十分な距離を取るように心がけてください。**

(7) エレベーター、トイレについて

「エレベーター」、「トイレ」は密になりやすい危険な空間ですので、感染防止に十分注意してください。

(8) 学生ロッカー室について

- ①ロッカー室は、トイレと並ぶ、いわゆる「三密」の環境に陥りやすい、極めて危険なゾーンですので、感染防止には十分留意してください。
- ②ロッカー室の使用は、原則教科書等の出し入れなど短時間で済むことのみとし、室内に長居しないでください。
- ③ロッカー室内での発話は禁止します。
- ④ロッカー室内では人との間隔を十分に保ってください。
- ⑤ロッカーでの更衣は、教職員の指導・監督のもと認めますので、必ず教職員の指示に従ってください。

(9) 教室・授業について

- ①授業の時は、原則1人ひとりが「**1.2m**」の間隔を保つことを基準とします。
- ②授業中は必ず不織布マスクを着用してください。フェイスシールドについては、換気を十分に行ったうえで学生同士が「1.0m」以内に近接する場合、授業担当教員の判断によって着用を求める場合があります（フェイスシールドは大学で準備します）。
- ③授業を行う教員は、必ず不織布マスクを着用します。
- ④教室は換気に十分配慮します。授業中、夏・冬に限らず窓を開ける場合がありますので、体温調整ができる格好をしてください。

(10) 保健相談室、学生相談室について

体調に関して悩んでいる場合は保健相談室に、ストレスや心の問題で悩んでいる場合は学生相談室にぜひご連絡ください。巻末の「問合せ・相談先一覧」で連絡先を確認してください。

(11) 体育館について

当面の間、体育館を講義室として使用します。

(12) 事務室、研究室の出入りについて

対応する教職員は、必ず不織布マスクを着用します。また事務室のカウンターには、飛沫防止対策のビニールシート・ボード等を設置します。

(13) 学内での飲食について

- ①学内で喫食するときは、必ず「黙食」してください。
- ②机・椅子は感染防止対策を考慮して配置していますので、勝手に移動しないでください。
- ③マリアホールスペースの座席数には限りがあります。空きがないときは、学部ラウンジ、他の教室（6101 講義室等）に移動して、喫食してください。
- ④喫食前は手洗いをしてください。
- ⑤喫食時は、自分が着席している教室名、座席番号等を「行動記録カード」に必ず記入してください。
- ⑥喫食することが多いであろうマリアホール、学部ラウンジ、大学院ラウンジにCO₂センサーを設置し、二酸化炭素濃度が1,000ppmを超えるとアラーム音が鳴るように設定しています。アラーム音が鳴った場合は、一時的に近くの窓・ドアを開けて、換気をしてください。

3. 学外での生活について

(1) 外出時の注意事項について

- ①外出するときは必ず不織布マスクを着用してください。夏場は「熱中症」の危険性が高まります。暑さを感じる時は、人のいない換気のいい場所に移動して、マスクを外して休憩してください。
- ②規模の大小に関わらず、「換気の悪い密閉空間」、「多数の人が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」のいわゆる「三密」の環境には立ち入らないでください。
- ③お店で飲食する場合は、北海道飲食店感染防止対策認証店など、感染防止を徹底している飲食店等を選び、短時間で、大声を出さず、会話の時は不織布マスクを着用するなど、感染リスクを回避してください。特に、普段会わない方との飲食の際は、より一層注意しましょう。また、飲食の前は必ず手洗いをしてください。
- ④帰宅したら必ず手洗いをしてください。

(2) 体調管理について

十分な栄養と睡眠をとり、自分の体調管理に努めて、免疫力を高めましょう。また、適度な運動を生活に取り入れるとともに、自分自身のストレスケアにも気を配ってください。

(3) 道外等への移動について

- ①「感染者が多い地域（まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発出されている地域）」への移動の自粛を強く要請します。

(4) 部活動・サークル等について

- ①感染防止に最大限配慮した上で、部活動・課外活動を認めます。また、活動する際はその内容を必ず顧問に説明し、許可をもらった上で活動してください。別紙「新型コロナウイルス感染防止のための部活動ガイドライン」をお目通しください。
- ②当面の間、大人数（5名以上）のコンパ、打ち上げは自粛するよう要請します。

(5) アルバイトについて

アルバイトは、三密を回避できるものにしてください。
また、実習先によっては「アルバイトをしている学生を受け入れない」という施設もあります。教員から個別に指示が出ますので、それに従ってください。

(6) 換気等について

自室では、窓やドアを開けるなどして十分な換気を行ってください。目安としては2時間ごとに5～10分間程度です。空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では「加湿器」等を使って、適切な湿度（40～60%）を保ちましょう。

(7) 「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」について

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を、ご自身のスマートフォンにインストールすることを強くお勧めします。

Google Play



App Store



4. 問合せ・相談先一覧

新型コロナウイルスに関することも含め、何か質問・相談等があれば、いつでもご連絡ください。大学として、皆さんをできる限りサポートします。

問合せ・相談内容	連絡先
・履修・授業に関すること ・証明書に関すること	学務課 教務担当 ・ 011-792-9204 (直通) ・ gakumu@tenshi.ac.jp
・ 学生生活全般に関すること ・ 奨学金、経済サポートに関すること ・ 新型コロナウイルスに関すること	学務課 学生担当 ・ 011-792-9204 (直通) ・ gakuseitanto@tenshi.ac.jp
・ 学費に関すること	財務室 ・ 011-792-9206 (直通)
・ 就職に関すること	就職相談室 ・ 011-792-9200 (直通)
・ 体調・健康に関すること	保健相談室 ・ 011-792-9282 (直通)
・ 心の健康に関すること	学生相談室 ・ 011-792-9201 (直通) ※本学 web サイト 学生相談室ページから開室日を確認してください。
・ ZOOM、Google classroom、PC サポート等に関すること	情報処理室 ・ 011-792-9207 (直通) ※本学 web サイト 情報処理室ページから開室日を確認してください。
・ 図書館に関すること	図書館 ・ 011-741-1051 (代表) ・ lib@tenshi.ac.jp ※本学 web サイト 図書館ページから開室日を確認してください。

また、新型コロナウイルス感染症に関する、症状のない方の不安や疑問は、以下にお問合せください。

○札幌市新型コロナウイルス一般電話相談窓口 **0570-085-789** (毎日 9 時～21 時)

以 上